

第23回 小曽根秀実さん（東都医療大学）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第23回 小曽根秀実さん（東都医療大学）にご執筆いただきました。

肌の触れ合いが育むもの

私の専門領域は、『直接授乳する母親の心身健康科学』についてです。

助産師の仕事を通して、たくさんの母親と赤ちゃんに出会い、親子の関係性の神秘に包まれる中から、私の研究テーマ「乳幼児に直接授乳する母親の心身健康に関する研究」が生まれ、2013年に人間総合科学大学大学院で博士号を取得致しました。

「直接授乳」という言葉にこだわったのは、肌と肌が触れ合う直接授乳という行動を踏まえた母親のポジティブな心と体の反応、ストレス状態を明らかにし、社会に還元したい、と考えたからです。直接授乳する一連の過程を1件1件家庭訪問して観察させていただくという地道な研究活動でしたが、結果が出たときの感激と新たな知見は、まるで冒険家が宝物を見つけ出したかのような喜びとなりました。

現在、助産師学生の分娩介助実習引率中です。毎日、うぶごえシャワーを浴びながら、その傍で、妊娠期から産後にかけて直接授乳に関するフロー研究を行っています。

小曽根秀実（Hidemi OZONE）

【ご所属】 東都医療大学

【ご連絡先】 hidemi.ozone@tohto.ac.jp

【Facebook】 <https://www.facebook.com/hozone1>